



和と力

8・9月号



売布小ホームページ

令和6年(2024年)8月29日

宝塚市立売布小学校

校長 藤山 昌生



歩いて行ける小さな花火大会 2024.8.25

「この夏、〇〇やる!」と宣言して始まった夏休みも終わり、いよいよ今日から2学期が始まりました。毎日暑い日が続いていましたが、元気に夏休みを過ごすことができましたでしょうか。この夏、じっくりと取り組んだことや、発見したことなど、友だちや先生に言いたいことがたくさんあると思います。ぜひ、たくさんのお話を、「ゆっくりと自分の言葉で」伝えてみてください。また、それを聞いた人は、そのことについていくつか質問をしてみてください。そうすることで、そこからお話が広がっていき、新しいことを知りたくなるかもしれません。「知りたくなった時が調べ時」ですので、調べたことは書き残してほしいと思います。これから、校長先生もいろいろな人と話したり質問したりしたいと思っています。

さて、この夏の宮崎県で起こった震度6弱ニュースで「南海トラフ地震臨時情報」という言葉を聞いたと思います。南海トラフとは、東海地方から九州にかけての海底にある深さ4000mの細長い溝のことで、過去にも大きな地震を起こしています。もしかすると、このような大きな地震が起こるかもしれないという特別な注意の呼びかけでした。その影響で海水浴場が閉鎖されたり、電車が運休したりしましたが、いつ起こるか分からない地震などの災害に対して、あらためて見直す機会となりました。

また、今まさに発生している台風10号は、当初の予想よりゆっくりと進路を変えながら近畿地方へも近づいています。一人ひとりが「命を守る行動をとる」ことが大切です。家族の中で、今一度子どもたちともしっかりと避難経路や避難場所について再確認をお願いしたいと思います。子どもたちにもそれぞれの役割をしっかりと持って行動してほしいと思います。(防災週間:8/30~9/5)

8月は広島、長崎での平和祈念式典、終戦記念日、全国戦没者追悼式などが開催され、それに合わせて宝塚市では「平和の鐘」を鳴らすなど、あらためて平和を考える機会が多くあったと思います。6年生は、9月30日から10月1日にかけて、広島に修学旅行に行きます。学校でもおこなわれる集会などを通して、平和について考える機会を作っていきます。

私は今年の春、長崎の平和公園や原爆資料館を訪れる機会がありましたので、長崎市長の平和宣言の一部を紹介したいと思います。

平和をつくる人々よ!

一人ひとりは微力であっても、無力ではありません。

私たち地球市民が声を上げ、力を合わせれば、今の難局を乗り越えることができる。国境や宗教、人種、性別、世代などの違いを超えて知恵を出し合い、つながり合えば、私たちは思い描く未来を実現することができる。長崎は、そう強く信じています。

『令和6年長崎平和宣言』<https://www.city.nagasaki.lg.jp/heiwa/3070000/307100/p036984.html> から引用